

事件やできごとがおこった年の確認です。

	西暦	事件・ことがら	西暦	事件・ことがら	
南北朝	(1)	後醍醐は、天皇復活いざ見んしゃい 後醍醐天皇が建武の新政を始める。	(19)	家康は、徳川幕府のヒーローさ 徳川家康が征夷大將軍になる。	
	(2)	尊氏が後醍醐の一味さっぱり退治した 足利尊氏が征夷大將軍になる。	(20)	キリスト教、いろんな人に禁止され 2代將軍秀忠がキリスト教を禁止	
	(3)	南朝は悲惨苦痛で合一へ 足利義満が南北朝を合一する。	(21)	秀忠の大名統制、いろいろひごい 大阪夏の陣。武家諸法度。	
室町	(4)	正長は徳政勝ち取り石に焼く 近江国の正長の土一揆。	(22)	踏絵は絵の具の色がつく 長崎で踏絵が始まる	
	(5)	義政さん、後継ぎ指名は一人にしろな 足利義政の後継者争いから応仁の乱。	(23)	家光が、1年は江戸に居ろよと、参勤交代 参勤交代を定める。海外渡航と帰国禁止。	
	(6)	鬪志はいっぱい、山城一揆 山城の国一揆がおきる。	(24)	四郎ヒーロー、皆と一緒に島原へ 島原・天草一揆。寺請制度。	
	(7)	宗教の意志やや強し、一向一揆 加賀国で一向一揆がおきる。	(25)	いろいろサンキューポルトガル ポルトガル船の来航禁止。	
	(8)	鉄砲もって行こうよさあさあ、勝ち戦 ポルトガル人が鉄砲を伝える。	(26)	広くて住みよいオランダ出島 オランダ商館を長崎の出島に移す。	
	(9)	以後、よく来るキリスト教 サビエルがキリスト教を伝える。	(27)	お触書、ひとつ、無欲で働くこと 家光が慶安のお触書を出す(?)。	
	(10)	桶狭間いつもごろっと信長くん 織田信長が今川義元を破る。	(28)	白石じゃ、非難多くて失敗じゃ 儒学者の新井白石の正徳の治。	
	(11)	義昭は追放されて以後涙 信長が15代將軍足利義昭を追放。	(29)	享保も非難いろいろ、でも吉とする 徳川吉宗の享保の改革。五公五民の年貢。	
	安土桃山	(12)	鉄砲に負けてしまって以後泣いた 織田・徳川が武田騎馬隊を鉄砲で破る。	(30)	夕飯が稲つぶ二つは上米のせい 上米の制。小石川養生所・町火消し。
		(13)	十五夜に信長沈む本能寺 信長が明智光秀に討たれる。山城国検地。	(31)	公事方は、人でなしには厳しい掟 公事方御定書。
		(14)	秀吉は刀を取り上げ、以後ぱっぱ 豊臣秀吉の刀狩令。	(32)	浅間山、天明人の悩みなり 浅間山の噴火で百姓一揆と打ちこわしが多発。
(15)		一国を丸くおさめた秀吉くん 豊臣秀吉が全国統一をなしとげる。	(33)	定信は、改革やりすぎ非難やな 寛政の改革。出稼ぎ禁止。囲米の制。	
(16)		異国に攻め入る文禄くん 豊臣秀吉が朝鮮を攻めた文禄の役。	(34)	定信の借金消えんれ、非難わく 旗本・御家人の借金を帳消しにする。	
(17)		豊臣秀吉、以後くるな 慶長の役	(35)	学問が朱子学だけとは、人泣くおー 寛政異学の禁。(朱子学以外は認めない)	
(18)		関が原、東軍西軍人群れる 家康が石田三成を破った関が原の戦い。	(36)	幕府には、嫌みな大塩平八郎 大塩平八郎の乱。モリソン号が来航。	

西暦	事件・ことがら
(37)	ただくに 忠邦は、てんぼう 天保の仲間と さけの いちや 酒飲み一夜よい みずのただくに 水野忠邦の てんぼう 天保の かいかく 改革。 かぶな かま 株仲間を解散。
(38)	まき 薪と水、しかたがないから いやいや 容認 がいこくせんうちほらいはい 外国船打払令を はいし 廃止して しんすいきゅうよれい 薪水給与令。
(39)	くろふね 黒船に たいほうう 大砲撃たれて いや 降参 うらが ペリーが 浦賀に 来航。
(40)	開国し、これから 困難 いっぱいよ にちろわしん 日米和親条約。 にちろわしん 日露和親条約。
(41)	い い 井伊は 違反だ、ふびょうどう 不平等条約 にちべいしゅうこうつうしょう 日米修好通商条約。 あんせい 安政の たいごく 大獄。
(42)	い い 井伊は 老齢、暗殺された さくらだもんが い 桜田門外の変。
(43)	なまむぎ 横浜の 生麦 いやよ、ろくに 炊けない さつま 薩摩藩がおこした 生麦事件。
(44)	ちようしゅう 長州が 降伏するも しこく 四国は無視した しこくかんたいしものせきほうげきじけん 四国艦隊下関砲撃事件。
(45)	よしのぶ 慶喜は大政奉還 いやだろな たいせいほうかん 大政奉還。 おうせいふつこ 王政復古の 大号令。

南北朝時代

1334年 後醍醐天皇が(1…漢字で)の新政を始めます。しかし、わずか2年あまりで失敗し、足利尊氏が光明天皇をたてて京都に北朝を、後醍醐天皇は奈良県の(2…地名)に南朝をつくるようになり、この内乱が約(3)年も続きます。

1338年、足利尊氏が(4…役職名)になり、京都に幕府を開きます。将軍の下に(5…漢字で)という役職をおいたところに今までとの違いがあります。そして、今後の歴史に台頭してくるのが(6…役職名)です。この後、(6)大名とよばれ、任命された国を自分の国のように支配して勢力をのばしていきます。

室町時代

1392年、第3代将軍足利(7)が南北朝を合一し、日本から明に貢物をもっていく形の(8)貿易を始めます。(8)とは、明が日本の海賊の(9)と貿易船を区別するために使わせた合札のことで、上がこの貿易に使われた(10…?船)です。また、朝鮮半島では、高麗に代わって朝鮮が興り、日本と正式に貿易を行っています。そして、この時代にこの国で(11…例 안녕 하세요!)という文字がつけられています。



日本の<sup>じゆんこうごう</sup>准皇后(太皇太后・皇太后・皇后に<sup>じゆん</sup>準ずる)であるA<sup>わたしが</sup>、手紙を<sup>みん</sup>明の皇帝陛下に差し上げます。日本は国が始まって以来、中国にあいさつの<sup>ししや</sup>使者を送らなかつたことはありませんでした。わたしは<sup>こくせい</sup>国政をつかさどり、国内の<sup>たも</sup>平和を保っています。そこで、<sup>しやう</sup>昔からの<sup>しきたり</sup>しきたりに従って、<sup>そう</sup>使いの僧に<sup>しやうにん</sup>商人を同行させ、<sup>ゆうこう</sup>友好関係を結ぶため、<sup>みやげもの</sup>土産物を<sup>けんじやう</sup>献上いたします。

上の資料にあるAは<sup>あしかがよしみつ</sup>足利義満のことで、Bを守らずに<sup>こつこう</sup>対等の立場で<sup>こつこう</sup>国交を開こうとしたのが7世紀初めのころの(12…日本の人物)です。また、この貿易で、日本から輸出したのが(13…あるだけを記号で)、<sup>みん</sup>明から輸入したのは(14…あるだけを記号で)、<sup>ちやうせん</sup>朝鮮から輸入したのが(15…あるだけを記号で)です。

- ア.銅    イ.硫黄    ウ.陶磁器    エ.絹織物    オ.木綿    カ.おうぎ    キ.人参    ク.漆器  
ケ.永楽通宝



(16…年) 今の(17)県の<sup>おうみのくに</sup>近江国で、(18…元号)の<sup>どいつき</sup>土一揆が<sup>きやうさく</sup>おこります。この年は<sup>えきびやう</sup>凶作で<sup>はや</sup>疫病も<sup>みんしやう</sup>流行り、<sup>はや</sup>民衆は生活に苦しんでいました。そのため、この国の<sup>ばしやく</sup>馬借や<sup>ばしやく</sup>農民たちが(19…借金を返さなくてよいという法)を要求しておこしたのです。ほかでは、(20…年)、今の<sup>きやう</sup>京都で、<sup>だんけつ</sup>農民と<sup>こくじん</sup>団結した<sup>しゆご</sup>国人が<sup>はたけやま</sup>守護の<sup>じち</sup>畠山氏を<sup>じち</sup>追い出し、<sup>じち</sup>8年間の<sup>じち</sup>自治を行つた(21)の<sup>くに</sup>国一揆や、(22…年)におきた今の<sup>いっこう</sup>石川県の(23…昔の国名)の<sup>いっこう</sup>一向一揆があります。<sup>しんじや</sup>一向宗の<sup>しゆご</sup>信者たちが、<sup>とがし</sup>守護の<sup>ほろ</sup>富樫氏を<sup>ほろ</sup>滅ぼして(24)年間もこの国を支配したのです。



1429 <sup>しやうはし</sup>尚巴志が(25) <sup>おうこく</sup>王国をつくりました。この国は<sup>こくりゆう</sup>国際交流の<sup>やくわり</sup>かけ橋の<sup>やくわり</sup>役割もしています。<sup>みんせん</sup>明銭のほか<sup>みんせん</sup>東南アジアの<sup>ぞうげ</sup>象牙や料理に<sup>こうりやう</sup>使う香料などを<sup>つ</sup>積んで、<sup>みなとまち</sup>港町として<sup>さか</sup>栄えていく<sup>さか</sup>大阪府の(26…港町)や<sup>さか</sup>福岡県の(27…港町)などにやってきました。

(28…年)、<sup>あしかが</sup>足利(29…人名)の<sup>こさうけいしや</sup>後継者争いから<sup>おうにん</sup>応仁の乱が<sup>おうにん</sup>おこり、これが(30)年間も続きます。そして、1575年には、<sup>おだのぶなが</sup>織田信長と<sup>とくがわいえやす</sup>徳川家康の<sup>れんごうぐん</sup>連合軍が、日本最強といわれた(31…人名)の<sup>きばたい</sup>騎馬隊を<sup>てつぱう</sup>鉄砲で<sup>てつぱう</sup>破る(32…地名)の戦いがおきます。



<sup>てつぱう</sup>鉄砲は、始めは(33…外国名)から輸入していましたが、やがて、大阪府の(26…都市名)や滋賀県の(34…地名)で大量につくられるようになります。左は鉄砲鍛冶のようすです。

1549年、(35…外国名)人の<sup>フランシスコ・ザビエル</sup>フランシスコ・ザビエルが、<sup>ポルトガル</sup>ポルトガルの船に乗って(36…地名)に上陸して<sup>キリスト教</sup>キリスト教を伝えます。各地に<sup>なんぼんてら</sup>南蛮寺をつくり、<sup>熱心</sup>熱心に<sup>キリスト教</sup>キリスト教の<sup>ふきやう</sup>布教を行ないます。また、<sup>おだのぶなが</sup>織田信長が<sup>全国統一</sup>全国統一のさまたげになる<sup>仏教勢力</sup>仏教勢力を抑えるために<sup>キリスト教</sup>キリスト教を<sup>ほご</sup>保護したこともあり、一時は<sup>大名</sup>大名たちの間にも<sup>キリスト教</sup>キリスト教が<sup>広ま</sup>広まっています。かれらは(37)大名とよばれていました。1582年には、九州の(37)大名によって、4人の少年が<sup>ローマ教皇</sup>ローマ教皇のもとに送られています。1585年に着いた彼らは各地で<sup>歓迎</sup>歓迎されました。



4人の少年使節と引率した宣教師



しかし、彼らが帰国したときは、豊臣秀吉によって宣教師の国外追放令が出されており、やがてキリスト教は禁止されます。この少年たちを(38…?使節)といいます。



また、ポルトガル人やスペイン人との貿易を(39)貿易、その船を(39)船といいます。この貿易では、鉄砲・火薬・中国の生糸や絹織物などが輸入され、日本からはおもに(40…貴金属)が輸出されています。このとき、日本に西瓜や(41…ウリ科の野菜。煮物などに使う)・とうもろこし・(42…ナス科のいも類)・タバコなどが伝わり、各地で栽培が始まっています。

1571年、信長が天下統一のさまたげになる仏教勢力の(43…?寺)を焼き討ちし、1576年には(44…湖名を漢字で)の東岸に安土城を築き、巨額の金を納めた許可状がなければ、油や紙をつくることも売ることできない仕組みの(45…漢字)の特権をなくし、神社や寺院、主要な街道におかれた(46…出入りを制限する門のようなもの)で取っていた通行税や、市場の税を廃止する(47…漢字で)どの政策を取ったため、城下では商工業が発展しました。また、右は「武力で天下を統一する」の意味の(48…漢字で)の印です。



安土城の復元模型



あづちもみやま 安土桃山時代

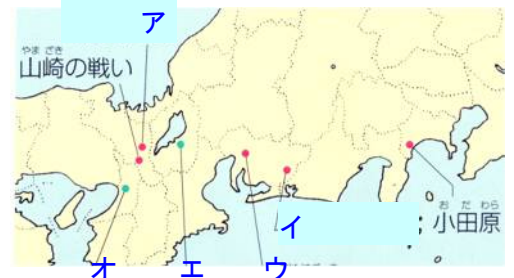
(49…年)、信長が自分の命令に従わなくなった室町幕府の15代将軍(50…フルネームを漢字で)を追放し、室町幕府を滅ぼします。



(51…年)、信長が(52…人名)の謀反で自害する(53)の変がおこります。

下の戦いや城の位置を地図から選び、記号で答えなさい。

- 桶狭間の戦い…(54)
- 大阪城…(55)
- 安土城…(56)
- 本能寺の変…(57)
- 長篠の戦い…(58)



また、戦国大名たちは、自分の国を支配するため、下のような(59…漢字で?法。家法のこと)という独自の法律をつくっています。

- ひとつ けんかをしたときには、是非を問わず、両方を罰する。
- ひとつ 許しを得ないで、他国に手紙を出してはならない。…『信玄家法』
- ひとつ 勝手に、他国の者と縁組み(結婚)してはならない。…『今川仮名目録』

1582年、豊臣秀吉がのちに太閤(60)といわれる全国の土地の測量を行ないました。米の取れ高をあらわす石高を調べて(60)帳に記録し、取り立てる年貢を安定させることと農民を土地にしばりつけるねらいがあったようです。このことで、武士と農民の身分がはっきり区別され、墾田永年私財法以来の(61…私有地)が完全に無くなり、全国の土地と農民が完全に武士の支配に置かれるようになりました。



×と×の間が1尺(約30cm)



1升のます (1石=100升)

およそ15cm四方

1585年、秀吉は幕府を開かずに、朝廷の権威をかりて全国を支配しようとします。農民出身の秀吉が(62…役職名を漢字で)になり、翌年には貴族の最高位の(63…漢字で?大臣)と

なって、引退後は太閤とよばれています。

下の資料は、豊臣秀吉が出した(64…?令)です。

**資料**…日本は神国であるのに、キリスト教の国がいかかわしい教を日本に広めようとしているのはとんでもないことである。…そこで、宣教師が日本に滞在することを禁止する。今日から20日のうちに出国せよ。人の平等を説くキリスト教の教えが全国統一の妨げになったようです。しかし、南蛮貿易はそのまま続けたためにその効き目はなかったようです。



(65…年) 豊臣秀吉が(66…漢字で?令)を出します。この令により、農民は刀や鉄砲などを取り上げられ、武士と農民の身分がさらにはっきりと区別される(67…四字熟語)が進みました。下の資料の中に入ることばを答えなさい。

- 一 諸国の農民が、刀・やり・鉄砲などの武器をもつことをかたく禁止する。武器をたくわえ、年貢を出し
- しぶり、(68)をくわだてて領主に反抗する者はきびしく処罰する。
- 一 取り上げた刀は、このたび新しく大仏をつくらうときのくぎなどにして役立てるから、農民は仏の恵みで、この世だけでなく死後も救われるだろう。

(69…年) 豊臣秀吉が東北の伊達氏と小田原の(70…?氏)を平定し、全国統一をなしとげます。小田原は現在の(71)県にあります。

(1)年に文禄の役がおこり、(2)年には慶長の役がおきます。豊臣秀吉が中国王朝の(3…当時)の名を征服しようとし、その協力をこぼんだ朝鮮との戦いで、右は朝鮮が使った(4…?船)です。苦戦を続けた日本は、秀吉の病死をきっかけに兵を引き上げます。

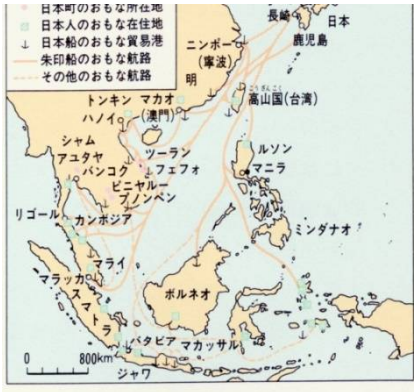


1600年、現在の(5)県で関が原の戦いがありました。東軍の家康が西軍の豊臣方の(6…人名。検地のときに活躍)を破り、政権をとった「天下分け目の戦い」です。

**江戸時代**

1603年、徳川家康が征夷大将軍になり、江戸に幕府を開きます。徳川政権は、15代将軍慶喜による大政奉還までの約(7…10の位までの概数で)年間も続きます。

実権は将軍がにぎり、その下に(8…漢字で)という役職がおかれ、この下で大目付や町奉行・勘定奉行が政治を行なうしくみです。そして、1605年に家康は息子の(9…徳川?)に将軍職をゆずり、以後は徳川家が代々の将軍になることを全国の大名たちに示します。徳川氏一族の大名を(10…漢字で)といい、その中の尾張(名古屋)・(11…和歌山県)・水戸(茨城県)の御三家から次の将軍が選ばれるしくみになっています。御三家以外の大名たちは、関ヶ原の戦いより前からの家臣(家来)たちを(12…?大名)とし、関ヶ原の戦いの後に徳川に従った大名たちは(13…?大名)とよんで区別しました。さらに、将軍に直接仕える家来たちを(14…漢字で)といいます。こうした幕府のしくみは、3代将軍の(15…徳川?)のころに完成しています。



家康による貿易を(16…?貿易)といい、家康が貿易を許可した印の(17…?状)をもった船が、東南アジアの各地に出かけています。このとき、東南アジア各地に日本人のすむ(18…?町)ができています。

1604年には、(19…?藩)が蝦夷地でアイヌとの交易を始めます。しかし、この藩があくどい方法で交易を行なったため、アイヌの酋長の(20…人名)が、後に(20)の戦いをおこします。

1607年に、(21…外国名)と国交を回復します。この国との貿易は(22…?藩)が、朝鮮半島まで出向くと



いう形で行われています。そして、3代将軍のときからは将軍が代わるごとに、(23)という使節団が、あいさつのために江戸までにくるようになっていきます。同年、オランダが長崎県の(24…地名)に商館を開いています。

1609年には、(25…?藩)琉球王国を征服しています。この藩は琉球王国の検地を行ない、当時の高級品のさとうや布・米を税として納めさせています。



1612年、2代将軍が天領にキリスト教の禁止令を出します。この令は明治政府にかわるまでの約260年間も続きます。幕府が禁止令を出したのは、①キリスト教が(26…人間の?)を説いているため、②布教を通じて、日本がスペインやポルトガルに支配されることを恐れたため。と考えられます。

大阪(27…①夏→冬 ②冬→夏)の戦いで豊臣は滅亡しました。同年、2代将軍が(28…漢字で)を制定して大名たちを支配します。そして、朝廷に対しては(29…漢字で)というきまりを制定し、京都に置いた(30…役所名)に命じて朝廷を監視するようになります。

**(28)の一部**

- 一 大名は学問と武芸にはげむこと。
- 一 大名は毎年4月に(31)をすること。…3代将軍が1635年に加えた。
- 一 許可なく城を修理したり、新しい城をつくったりしてはならない。
- 一 大名は勝手に結婚してはならない。
- 一 五百石(約140㎡=10m×2m×7m)以上の(32…当時の輸送手段に使ったもの)をつくってはならない。

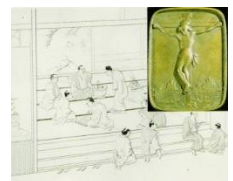
また、2代将軍は五戸一組で共同責任を負わせる(33…?組)の制度で農民を支配します。

- 一 朝は早く起きて草をかり、昼は田畑を耕し、夜はなわをない俵を編み油断なく仕事にはげめ。
- 一 できるだけ麦・あわ・ひえなどの雑穀などを食べ、米を多く食べないようにすること。
- 一 着物は(34…着るものの素材)や木綿以外は使ってはならない。

農民は土地を持つ本百姓と、土地を借りて農業を行なう(35…?百姓)に区分され、本百姓の中から(36…関西では庄屋という役職)・組頭・百姓代の村役人が選ばれ、役人の指示を受けて村を治めています。さらに、村にはきまりを破ると、村中の人たちから相手にされなくなる(37…漢字三字で)などのきびしいおきてがありました。

3代将軍が(38…外国名)船の来航を禁止し、長崎でキリシタンを取り締まるための(39…政策名)が始まります。そして、長崎に(40…地名)を築いて貿易の利益を独占します。

1467年、(41…人名を漢字で)を頭にした島原・天草一揆がおこり、これを鎮めた後は、すべての者が檀家になることを強制する(42…漢字で?制度)を設け、1639年には(43…外国名)船の来航も禁止しました。このような外国との付き合いの制限を(44…漢字で)といいます。





この時代に日本と取引のあった外国は3つです。正式に国交を結んだ(李氏)朝鮮と、正式な国交はなかった中国王朝の(45…王朝名)と(46…ヨーロッパの国)です。

また、1643年には3代将軍が(47…?令)を制定し、本百姓が田畑を売買することや、農民がよその土地に移ることや米以外の作物を作ることも禁止します。

1680年、徳川家光の四男の(48…人名)が5代将軍になって(49…?令)を制定します。動物を



極端に保護するこの令で人々の不満が強くなりますが、むやみに切腹をしなくなるなど、

命を重く見る価値観が生まれたようです。17世紀から18世紀初めのこのころを(50…元号)時代といいます。

1709年、6代将軍と7代将軍に仕えた儒学者の(51…人名)が、(52…?の治)という政治の改革を行います。(49)を廃止し、(53…輸出品)の流出を防いで貨幣の質を良くして物価や財政の安定に努めましたが、効果を上げることはできませんでした。このときの政治を文治政治といいます。

1716年、もと(54…昔の国名)藩主の8代将軍徳川吉宗が(55…?の改革)を行い、財政の立て直しに取り組みます。年貢を四公六民から(56…?公?民)に引き上げ、不作やききんでも年貢を減額しないようにしました。

さらに、新田開発を積極的に行なって耕地を増やし、ききんに備えたさつまいも(甘藷)の栽培を奨励しています。この作物の栽培を広めたのが(57…人名を漢字で)です。この人物は吉宗に命じられてオランダ語を習得し、蘭学の基礎を築いています。産業を発展させるために、キリスト教に関係のない洋書の輸入を許可したのです。

さらに、庶民の意見を聞くための(58…漢字で?箱)を設置しています。これで、町火消しや、貧困者のための小石川養生所がつくられました。

1722年、米を出す代わりに、参勤交代の江戸での滞在期間を1年から半年にちぢめるという(59…?の制(令))が出されます。翌年には、身分の低いものでも高い役職につくことができる足高の制を出しています。

さらに、吉宗は裁判の基準となる(60…漢字で?書)を出し、裁判の公正化を図っています。しかし、1732年に享保の大ききんがおこり、農民による(61…漢字で)と町民による(62)の反乱が多発して、改革は失敗します。

1772年、(63…人名を漢字で)が老中になり、商人の力を利用して財政を立て直そうとしました。同業者組合の(64…座と同じような独占販売のしくみ)を公認する代わりに、莫加金といわれる多額の税を商人たちに納めさせたのです。産業は活発になりましたが、大商人が利益を独占するようになったため、人々から批判が出ます。さらに、商人に資金を出させて千葉県印旛沼や手賀沼を干拓して新田を増やそうとしましたが、利根川のはんらんで失敗しています。そして、1782年には、(65…元号)の大ききんが、1783年には長野県と群馬県の県境の(66…火山名)が噴火したため反乱が多発し、(63)は失脚します。さらに、(67…元号)の大ききんもおきています。

1787年、11代将軍のもとで老中となった(1…人名)が、(2…?の改革)に取り組みます。この人物は、吉宗の孫で(3…今の福島県)藩の藩主です。俊約令や、農村を立て直すために農民が都市部に稼ぎに出てくる出稼ぎを禁止し、ききんに備えて大名に米をたくわえさせた(4…漢字で?の制)などの命令を出しました。しかし、質素俊約の命令があまりに厳しすぎたため、人々の反感を買って失敗します。

狂歌 ○白河の 清きに魚の 住みかねて もとの濁りの 田沼恋しき  
○世の中に 蚊ほどうるさきものはなし ぶんぶ(文武)というて 夜もねられず

(5)年には、旗本や御家人の借金を帳消しにする(6…ひらがな可)という令を出しますが、かえって武士の生活は苦しくなる結果になっています。翌年には(7…儒教の一派)以外の学問は認めないとする寛政異学の禁を出しています。1841年には、老中(8…人名を漢字で)が(9)の改革にとりかかり、株仲間を解散させます。しかし、経済は混乱してしまいました。1843年には、農民を国に帰すための(10…?令)や、旗本の領地を取り上げて替地を命じた(11…?令)を出します。しかし、大名や旗本の反発は強く、すぐにこれを撤回することになり、このことが原因で失脚し、失敗に終わります。

### 開国への流れ

1792年、ロシアの(12…人名)が北海道の根室に来航し、日本との通商を求めてきます。1804年にはロシアのレザノフが長崎に来航しています。1808年には、イギリス軍艦の(13…?号)がオランダ船を追って長崎港に侵入し、乱暴をはたらいた(13…?号)事件がおきます。当時のイギリスとオランダは戦争状態にあったのです。

幕府は、江戸湾などの守りを厳重にするようになり、近藤重蔵らに千島の探検をさせ、(14…人物名を漢字で)に北方を探検させています。さらに、伊能忠敬によって蝦夷地の測量も始めています。

そして、1825年、あくまでも鎖国政策を守ろうとする幕府は、外国船が近づいたらただちに攻撃せよという(15…?令)を各藩に出します。資料…「どこの港においても外国船が近寄ってきたら、近くにいる者たちで力を合わせ、ともかく追いはらってしまえ。…」

そして、(16)年、大阪で(17…人物名)の乱がおきます。

近ごろ、多くの民衆が苦しんでいるのは、政治をするものが、民をいつくしむ気持ちを忘れていたからだ。たび重なる天災は、天からくだされた戒めであるのに、あいかわらず、その小人(ろくなことをしない人)どもが政治をしている。……だからこそわれらは、役人や大商人を倒し、金銀・米などを貧民に分け与えようとしているのだ。

この乱は1日でしずめられましたが、大きな驚きが全国に走ります。大阪町奉行所の

(18)という元役人が、(19…幕府が直接治めているところ)の大阪で反乱をおこしたことで、幕府の力の衰えが明らかになったためです。



この乱がおきた年、通商を求めて浦賀に来航したアメリカの商船(20…?号)を砲撃する

(20)事件がおきます。浦賀とは現在の神奈川県(21)市のことです。このとき、世界情勢に目をむけていた蘭学者の渡辺崋山と、(22…シーボルトの弟子の一人の人物名)がこの事件を知り、幕府の鎖国政策を批判したため、1839年の蛮社の獄で処罰されています。しかし、アヘン戦争で、(23…当時の中国王朝名)がイギリスに敗れたことを知った幕府は、外国の軍勢力を認め、(15…?令)を廃止し、外国船に燃料の新・石炭や食料を与える(24…漢字で…?令)を出します。



(25…年)年、アメリカのペリーが、日本に対して開国と通商を要求する大統領の手紙を持って、蒸気船2隻を含む艦船4隻で浦賀に来航します。蒸気船にあわてふためいた幕府や江戸の人々がふるえあがったようすが下の狂歌に歌われています。周りを海に囲まれた日本は、世界一安全だと思っていたのが、世界一危険な国だと分かったわけです。



太平の眠りを覚ます 上喜撰 たった四杯で 夜も寝られず

この歌の下線部……は幕府の(26)政策をさしています。

こうしたことは、ラクスマンが来航したときに(27…人物名を漢字で)という人物が、『開国兵団』などを出版して海防の必要を説いていました。しかし、幕府は無用に人心を動揺させたとして処罰しています。

右は、ペリーの来航がきっかけで品川沖に築かれた人工の島の(28…場所名)といいます。



ここに大砲をそなえつけて、東京湾を防衛しようとしたのです。

翌年、今の横浜市の(29…地名)の沖に、7隻の軍艦をひきいたペリーが、再び現れたため、幕府は(29)条約ともいう(30…?条約)を結び、北海道の(31…地名)と静岡県(32…地名)の2港を開港し、アメリカ船の寄港とアメリカ領事の駐在を認めます。その後、イギリス・ロシア・オランダとも同じ内容の条約を結び、鎖国の時代が終わりました。

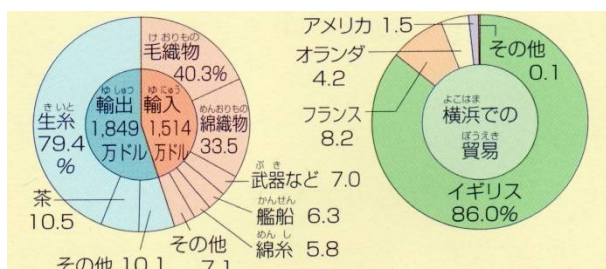
(33…年)年、14代将軍のもとで(34…人名を漢字で)が大老の職に就きます。下田にやって来た初代アメリカ領事のハリスが通商条約を結ぶように幕府に強く要求し、これに屈した大老が朝廷や一部の大名の反対を抑えて(35…?条約)を結びます。そして、条約での取り決めによって、静岡県の下田を閉じて、今の横浜市の(29)、長崎県の(36…地名)、兵庫県神戸市の(37…当時の地名)、新潟県の(38…地名)の4港を新たに開港し、北海道の函館と合わせ、全部で5つの港を開くことになりました。

**第四条** 日本が輸出入する品物にかかる税金(関税)は、アメリカと相談して決める。  
**第六条** アメリカ人が日本人に対して罪を犯したときは、アメリカ領事が裁判をする。

このときの日本はイギリス・ロシア・オランダ・フランスとも同じような内容の条約を結びますが、これらの条約は、(39…領事裁判権のこと)を認め、入ってくる品物に関税をかける権利の(40…?権)が無いなどの日本にとって不利な内容のものでした。開国に反対する人々は、大老が朝廷の許しをまたずに条約を結んだことを非難します。しかし、大老は非難した(41…人物名)らを処罰します。(41)とは、松下村塾を開き、明治維新で活躍する高杉晋作・木戸孝允・伊藤博文・山形有朋ら多くの門弟を育てた人物で、このできごとが(42…?の大獄。ひらがな可)です。



そして、このことで不満をもった尊王攘夷派の水戸藩の志士たちが、江戸城の門の前で大老を暗殺した(43…?の変)がおきます。この山口県萩市にある萩反射炉や松下村塾は明治日本の産業革命遺産として、世界遺産に登録されています。



貿易が始まると、日本は(44)や茶を輸出し、毛織物や、高い技術でつくられた綿織物や武器などを輸入します。このときの貿易相手国は、ほとんどがイギリスです。

しかし、さかんに輸出されたために国内での品不足をまねきます。さらに、金も出ていって貨幣の質が悪くなったため、物価が上がったのです。とくに生活が苦しくなった下級武士や公家たちは、生活が苦しくなったのは幕府や外国のせいだと考えるようになり、幕府を倒そうとする動きが強まっていき、外国人を打ち払おうとする攘夷論が高まります。そして、攘夷論は天皇を中心に政治を改革しようとする尊王論と結びつき(45)運動になりました。



世の中のこうした動きのとき、横浜近郊の(46…地名)で、イギリス人4人が騎馬のまま、薩摩藩の行列の前を通ったため、薩摩藩がイギリス人の1人を切り殺す(46)事件がおきます。

イギリスは幕府や薩摩藩に賠償金を要求し、薩摩藩はこれに応じなかったため、翌年に薩英戦争に発展します。この戦いでイギリスに負けた薩摩藩は、近代兵器の恐ろしさを痛感し、以後イギリスに近づいていきます。すると、イギリスは薩摩藩に対して幕府を倒すための援助をするようになります。



同じ年、長州藩が下関海峡を通過するアメリカ・フランス・オランダの外国船を砲撃する(47)事件がおき、この事件の報復で(48…薩長を支援した国)・(49…幕府を支援した国)・(50…ペリーの母国)・(51…鎖国時代に取引していた国)の四国の外国艦隊に長州藩の下関砲台が攻撃されて完敗しました。

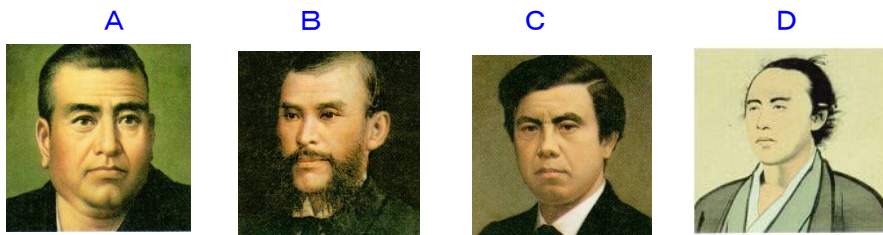
こうして、攘夷の不可能をさとった両藩は倒幕運動に向かいます。そして、薩摩藩と長州藩が坂本竜馬の仲立ちによる(52…?同盟)を結んで幕府をたおします。

(53…年)年、(54…第15代将軍徳川?)が、政治の実権を天皇に返す(55…漢字で)を行います。こうして約(56)年間続いた武士の世が終わりました。



朝廷は(57…?の?)を発表し、明治天皇を中心とした新しい政府をつくります。しかし、幕府軍はこれに抵抗し、(58…地名)での鳥羽・伏見の戦いから、函館の五稜郭の戦いまで続く(59…?戦争)を戦いますが敗れてしまいます。

新しい政府の中心となった人物は、下のA・B・Cや右の公家出身の(60…人物名を漢字で)です。人物名とその出身藩をそれぞれ答えなさい。



A	(61…人物名と出身藩の順で答える)		
B	(62…人物名と出身藩の順で答える)	さいごうたかもり 西郷隆盛	きどたかよし 木戸孝允
C	(63…人物名と出身藩の順で答える)	さかもとりょうま 坂本竜馬	おおくぼとしみち 大久保利通
D	(64…人物名と出身藩の順で答える)		ア. 薩摩 イ. 土佐 ウ. 長州

下の二条川原の落書(落書き)とよばれる資料から、建武の新政での混乱が見て取れます。

このごろ都ではやっているものは、夜討ち、強盗、にせの天皇の命令書、とらわれ人や急使の早馬、理由のないさわぎである。・・・成り上がり者が、なれない公家の身なりで御所に入出入りするのめずらしく、おかしいものだ。

この資料のにせの天皇の命令書は、なぜ出たのかを説明しなさい。…(記述 1)

そして、この新政が失敗した理由を、「天皇の政治は」という書き出しでまとめなさい。…(記述 2)

また、農民たちも不満をもちました。その理由をまとめなさい。…(記述 3)

日明貿易で日本から輸出した硫黄は何をつくるためのものかを答えなさい。…(記述 4)

さらに、朝鮮から輸入した人参は何に使ったかを答えなさい。…(記述 5)

里山は落ち葉を肥料にしたり薪や木材を生産したりする重要な財産のため、村のおきてとして、次のようなきびしいきまりが決められていました。

- 一 寄合に二度欠席した者は罰金を払うこと。 一 村の森で苗木を切った者は罰金を払うこと。
- 一 犬を飼ってはならない。… など。

上のきまりで犬を飼ってはならない。としてある理由として考えられることを2つ答えなさい。…(記述 6)

また、このようなきびしいきまりがあったのは、村の山林には人々の生活に重要なはたらきがあったためです。このはたらきを3つ答えなさい。…(記述 7)

室町時代は武家と公家の文化が民衆に広まった独特の文化が発達した時代です。その原因のひとつに応仁の乱があります。そのことを「応仁の乱をさけて」という書き出しで答えなさい。…(記述 8)

鉄砲が入ってきたことによっておこった戦い方の変化を答えなさい。…(記述 9)

そして、その結果、世の中の動きがどうなって行ったかを答えなさい。…(記述 10)

長篠の戦いでは、鉄砲の威力を発揮させるためにある工夫がしてありました。その工夫を答えなさい。…(記述 11)

戦国大名たちは、分国法のようなきまりをつくったのかを答えなさい。…(記述 12)

織田信長はなぜキリスト教を保護したのかを答えなさい。…(記述 13)

検地の目的を「全国の石高を調べて」の書き出しでまとめなさい。…(記述 14)

そして、このできごとによって農民の立場はどうなって行ったか、「農民が・・・」の書き出しでまとめなさい。…(記述 15)

また、このできごとによって、国ごとにちがっていたあるものが統一される結果になりました。そのあるものとは何かを答えなさい。…(記述 16)



信長とちがい、秀吉はキリスト教を禁止しました。その理由を答えなさい。…(記述 17)

しかし、禁止した効果はあまりありませんでした。その理由を答えなさい。…(記述 18)

また、刀狩から分かる秀吉の狙いを答えなさい。…(記述 19)

関が原の戦いは、西軍の豊臣方が有利な布陣をして負けるはずがないといわれた戦いでした。にもかかわらず豊臣方が負けてしまった理由を答えなさい。…(記述 20)

地図を見て分かることを「譜代大名は・・・、外様大名は・・・。」のように答えなさい。…(記述 21)



江戸幕府が重要な都市を直接治めた理由を「政治や経済の面で・・・。」の書き出しでまとめなさい。…(記述 22)

家康は強力な軍事力をもち、大名や朝廷・寺社・農民などを支配しました。

これらのことから幕府体制が長く続いた理由が分かりますが、家康はさらにある制度を定めています。

その制度とは、秀吉の検地や刀狩によって土台がつけられたものです。このことを「・・・制度。」のかたちで答えなさい。…(記述 23)

なぜ、江戸幕府はキリスト教の禁止令を出したのかを「キリスト教が・・・ため、幕府の・・・。」…(記述 24)

と「布教を通じて・・・を恐れたため。」…(記述 25)のかたちで2つ答えなさい。

1635年には、日本人の海外渡航と帰国も禁止されています。このとき、幕府が日本人の海外渡航と帰国を禁止した理由として考えられることを答えなさい。…(記述 26)

琉球は、国王や江戸幕府の将軍が代わるごとに、江戸に使節を送らなければなりません。右がそのときのように、琉球の一行に中国風の髪型や服装をさせています。このようなことさせた幕府のねらいを答えなさい。



…(記述 27)

オランダが日本との取引を許された理由をスペインやポルトガルとの違いから説明しなさい。…(記述 28)

徳川家光が定めた参勤交代の制度は何を目的としたものと考えられますか。「将軍と大名が・・・。」のかたちで答えなさい。…(記述 29)

そして、この参勤交代の制度によって、大名たちの立場がどのように変化していったかを答えなさい。

…(記述 30)

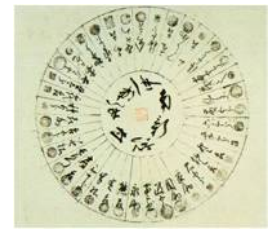
さらに、大名の結婚には幕府の許しが必要な理由を答えなさい。…(記述 31)

- 一 朝は早く起きて草をかり、昼は田畑<sup>たがや</sup>を耕し、夜はなわをない俵<sup>たわら</sup>を編み油断なく仕事にはげめ。
- 一 できるだけ麦・あわ・ひえなどの雑穀などを食べ、米を多く食べないようにすること。
- 一 着物は麻<sup>もめん</sup>や木綿以外は使ってはならない。

なぜ、このようにきびしいきまりで農民たちを支配したのかを「藩<sup>はん</sup>や幕府<sup>ぼくふ</sup>の財政<sup>ざいせい</sup>は・・・ため。」のかたちで答えなさい。…(記述 32)

朱子学<sup>しゆしがく</sup>を江戸幕府<sup>ぼくふ</sup>の学問としたかを答えなさい。…(記述 33)

吉宗<sup>よしむね</sup>が米<sup>こめ</sup>の価格<sup>かかく</sup>に気を使ったわけを答えなさい。…(記述 34)



右は百姓一揆<sup>いっぎ</sup>の参加者たちが円形に署名<sup>しよめい</sup>したものです。なぜ、円形に署名<sup>しよめい</sup>がしてあるのかを2つの理由で説明しなさい。…(記述 35)

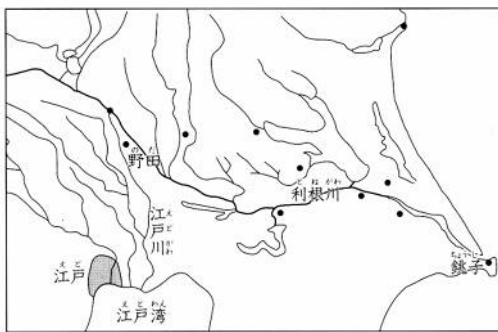
狂歌<sup>きやうか</sup>

「白河<sup>しらかわ</sup>の 清<sup>きよ</sup>きに魚<sup>うお</sup>の 住<sup>す</sup>みかねて もとの濁<sup>にご</sup>りの 田沼<sup>たぬま</sup>恋<sup>こい</sup>しき」

この狂歌<sup>きやうか</sup>が言いたいことを説明しなさい。…(記述 36)

大塩平八郎<sup>おしおへいはちろう</sup>の乱<sup>らん</sup>が幕府<sup>ぼくふ</sup>をおどろかせた理由<sup>りゆう</sup>を反乱<sup>はんらん</sup>のおこった地名<sup>ちめい</sup>を考えて答えなさい。…(記述 37)

また、この反乱<sup>はんらん</sup>が歴史上<sup>れきしじやう</sup>で意味<sup>いみ</sup>しているもの<sup>もの</sup>を考えて答えなさい。…(記述 38)



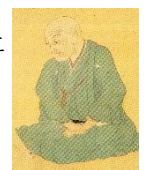
左地図はこの時代のしょう油の生産地を表したものです。生産地はこのように川の近くに位置しています。しょう油づくりがこのようなところでさかんになった理由を「原料<sup>うんそつ</sup>と運送<sup>うんそう</sup>」の2つの観点<sup>かんてん</sup>から考えて答えなさい。…(記述 39)

また、利根川<sup>とねがわ</sup>はもともと現在の江戸川<sup>えどがわ</sup>あたりを流れていました。それをこの時代に大規模<sup>だいきぼ</sup>な工事<sup>こうじ</sup>によって現在の流れに変えています。そのわけを答えなさい。…(記述 40)

越後屋<sup>えちごや</sup>後屋<sup>ごや</sup>(デパートの三越<sup>みつこし</sup>)の柱<sup>はしら</sup>には「現金<sup>げんきん</sup>掛け値<sup>かかけ</sup>なし」と書かれています。これはどういう意味ですか。

…(記述 41)

「数千軒<sup>せんぜん</sup>も軒<sup>のき</sup>をならべた問屋<sup>とみや</sup>の蔵<sup>くら</sup>の白かべは、夜明<sup>よあけ</sup>けの雪<sup>ゆき</sup>のようだ。三角形<sup>さんかく</sup>に積み上げられた米俵<sup>こめだわら</sup>は、まるで山<sup>やま</sup>がそのまま動いてきたようで、それを人や馬<sup>うま</sup>が運び出すには、雷<sup>かみなり</sup>がとどろくようだ。川舟<sup>かわぶね</sup>はかぎりなく波<sup>なみ</sup>に浮かんでいる。」…井原西鶴<sup>いはらさいかく</sup>『日本永代蔵<sup>にほんえいたいぞら</sup>』



資料<sup>しりょう</sup>の下線<sup>げん</sup>のようなようすが見られたわけを「大阪<sup>おさか</sup>に・・・」の書き出し<sup>だ</sup>で答えなさい。…(記述 42)

関所では人や物資の通行が規制され、通行手形が無いと通れません。さらに、この門は午前6時から午後6時までしか開いておらず、それ以外の時間は通ることができません。もし、ここを通らないときは重い罰があたえられていました。とくに、江戸へ鉄砲を持ちこむことと、江戸から出ていこうとする武家の女性にはきびしい取り締まりがありました。このようにきびしく取り締まったそのわけを答えなさい。…(記述 43)



物資の輸送や旅の街道として江戸から京都までの距離は東海道の方が短いにもかかわらず、距離の長い中山道をあえて選ぶこともありました。その理由を左のこのときのようなすをうかがい知ることができる「東海道五十三次」の絵を参考にして答えなさい。…(記述 44)

右はペリーの来航がきっかけで、品川沖に築かれた人工の島の御台場です。

幕府がここをつくった目的を説明しなさい。…(記述 45)

また、ペリーが日本に開国を求めた理由をまとめて説明しなさい。…(記述 46)



幕府の大老という役職について説明しなさい。…(記述 47)

**第六条** アメリカ人が日本人に対して罪を犯したときは、アメリカ領事が裁判をする。

**第四条** 日本が輸出入する品物にかかる税金(関税)は、アメリカと相談して決める。

上の資料から当時の日本が世界からどう見られていたかが分かります。そのことを答えなさい。…(記述 48)